

株式会社 三上

環境経営レポート

2024年度版

〔 対象期間 ： 2024年1月 ～ 2024年12月 〕

発 行 日 ： 2025年1月10日



目 次

1. 組織の概要		2
2. 環境方針		4
3. 環境目標及びその実績		5
4. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容		6
5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無		7
6. 代表者による全体評価と見直しの結果		7

1. 組織の概要

(1) 社名、代表者名及び本社所在地

社 名 株式会社三上

代 表 者 三上 俊哉

本社所在地 〒 220-0022 神奈川県横浜市西区花咲町4-124

(2) 会社設立及び資本金

設立年月日 1952年4月9日

資本金 2000万円

(3) 事業の概要

船舶等の機械部品の製造・加工・修理、各種プラントの修理・保全、建設工事の請負・施工・設計・管理

(4) 事業所及び認証・登録範囲

事業所名	所在地	業務内容	認証登録対象該否
本社	横浜市西区花咲町4-124	登記上の所在地	該当
営業所	横浜市西区花咲町4-123 シャルマン横浜302	管理、営業、工事	該当

(5) 環境管理関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 所属 役職 専務取締役 氏名 三上 貴将

環境業務担当者 所属 プラント事業部 役職 部長 氏名 西田 尚史

連 絡 先 住 所 〒 220-0022

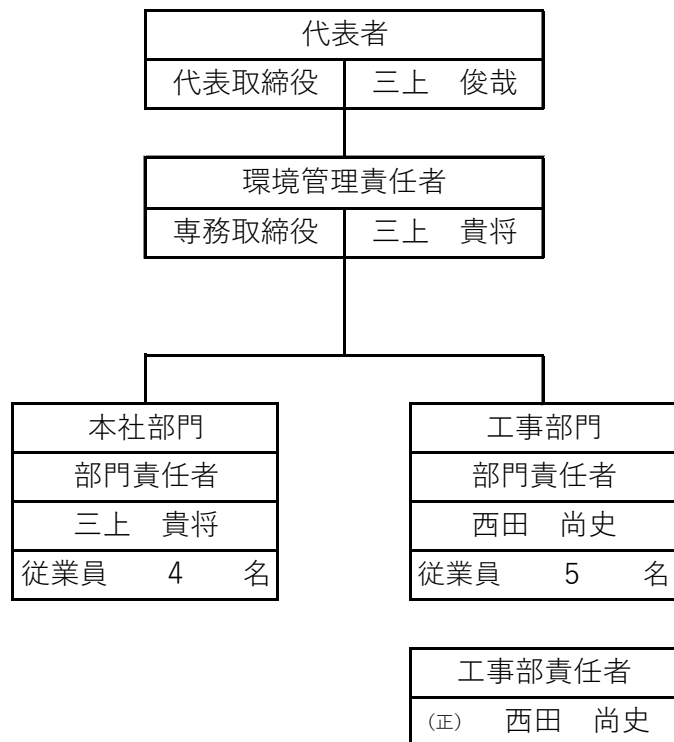
電 話 045-253-1717 FAX: 045-253-1819

電子メール smile@mikami.yokohama

(6) 事業の規模

項 目	単位	2021年	2022年	2023年	2024年
売 上 高	百万円	95	100	95	107
工事件数	件	31	33	34	38
従業員数	人	12	12	12	12
床面積	m ²	45	45	45	45

(7) 実施体制



(8) 事業のための許可取得状況

①許可の内容	②許可番号	③許可年月日	④許可有効年月日	⑤許可事業の範囲
建設業許可	神奈川県知事許可 般-27 第57862号	令和3年1月25日	令和8年1月30日	土、建、大、と、鋼、 塗、石、屋、管、タ 、筋、舗、しゅ、板、 ガ、防、内、建、絶、 解、水
古物商	神奈川県公安委員会 第451370013369号	平成29年6月26日	-	-
労働者派遣事業許可	派14-301495	平成29年7月1日	-	-
有料職業紹介事業許可	14-ユ-301167	平成29年11月1日	-	-

(10) 施設等の状況

運搬車輛等	車輛の種類		台数
	普通乗用車		3
	軽貨物自動車		1

環境経営方針

〔企業理念〕

株式会社三上は、社会と環境の課題解決を目指して事業のイノベーションに挑戦すると共に自らの企業価値向上と従業員の幸福を追求することを企業理念とする。

〔環境経営の指針〕

当社は、企業理念を踏まえ、経営と環境が融合した環境経営システムを基盤とすることにより建設・塗装業として環境負荷の少ない事業活動並びに環境に配慮した製品・サービスの提供に積極的に取り組みます。

環境経営への取り組みに当たっては、環境関連法規等を遵守し、全従業員参画により以下の基本的方向に基づき活動すると共に環境経営の継続的改善を図ることを誓約します。

〔環境経営への取組の基本的方向〕

1. 二酸化炭素排出量の削減

- ① 生産設備及び照明設備の省エネ化により電気使用量の削減に努めます。
- ② 工事現場における節電と環境配慮に努めます。
- ③ エコドライブの徹底により車輛等の燃料使用量削減に努めます。
- ④ その他化石燃料使用量削減に努めます。

2. 廃棄物排出量の削減

- ① 事業所から発生する一般廃棄物の削減に努めます。
- ② 事業活動に係わる産業廃棄物の発生を抑制すると共に適正処理を行います。
- ③ 資源の有効利用とリサイクルを推進します。

3. 水使用量の削減

- ① 事業所内の水使用量の削減に努めます。
- ② 建設工事に係わる水使用量の抑制に心掛けます。

4. 化学物質使用量の削減(管理)

- ① 化学物質を使用する場合は、適切に使用量管理を行います。

5. 自らが提供するサービスの環境性能の向上

- ① 設備工事の環境性能の向上に努めます。
- ② 顧客に有益な省エネ型製品・設備の導入を提案します。
- ③ 環境配慮型製品販売及び工事受注の促進に努めます。

この環境方針は、全従業員に周知すると共に、一般にも公開します。

改訂:2018年4月1日

株式会社三上

代表取締役 三上 俊哉

3. 環境目標及びその実績

環境目標項目				基準年	年度目標			2024年度 の実績及び評価		
				2016年度実績	2024年度	2025年度	2026年度			
								2024/1～12		
原単位指標		売上高	万円	7,500	—	—	—	10,773		
1 二酸化炭素排出量の削減	〔目標値設定率〕				基準値比	基準値比	基準値比		目標達成	
					10 %削減	11 %削減	12 %削減			
	(1) 電気使用量の削減	電気		kwh	2,812	2,531	2,503	2,475	2,101	○
		排出係数	0.500	kg-CO2	1,406	1,265	1,251	1,237	1,051	
	(2) 化石燃料使用量の削減	ガソリン		L	6,097	5,487	5,426	5,365	6,519	×
		排出係数	2.32	kg-CO2	14,145	12,730	12,589	12,447	15,124	
		都市ガス		Nm ³	1	0.90	0.89	0.88	0	○
		排出係数	2.16	kg-CO2	2.160	1.944	1.922	1.901	0.000	
	二酸化炭素排出量合計			kg-CO2	15,553	13,998	13,842	13,686	16,175	×
	原単位二酸化炭素排出量 (CO2排出量／売上高)			kg-CO2 /万円	2.07	1.87	1.85	1.82	1.50	○
2.廃棄物排出量の削減	〔目標値設定率〕				基準値比	基準値比	基準値比	2024年度 実績値	目標達成	
					7 %削減	8 %削減	9 %削減			
	一般廃棄物		kg	49	45.57	45.08	44.59	40	○	
	産業廃棄物		kg	－	－	－	－	－	－	
	リサイクル		kg	120	111.6	110.4	109.2	72	○	
3.水使用量の削減	〔目標値設定率〕			2018年・2019年 実績を勘案	基準値比	基準値比	基準値比	2024年度 実績値	目標達成	
					7 %削減	8 %削減	9 %削減			
	水使用量		m ³	22	20.46	20.24	20.02	12	○	
4.化学物質 使用量の管理			ℓ	－	実績把握	実績把握	実績把握	実績把握	○	
	計(ℓ)		ℓ	－	-	-	-	0		
5.環境配慮製品 サービスの提供	環境配慮 工事 受注拡大		万円	1,500	基準値比	基準値比	基準値比	2024年度 実績値	目標達成	
					14 %増	16 %増	18 %増			
					1, 710	1, 740	1, 770			563
	環境配慮 工事提案		件	12	基準値比	基準値比	基準値比	2024年度 実績値	目標達成	
					7 %増	8 %増	9 %増			
					12.84	12.96	13.08			4

※化学物質の使用はありません。

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、東京電力エナジーパートナー(株)の2015年度調整後排出係数0.500kg-CO2/kWhを用いた。

4. 環境経営計画及び環境経営計画に基づき実施した取組内容、
環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組計画

〔評価基準〕 ○：良くてきた △：ある程度できた ×：出来なかった

環境活動計画			推進責任者	環境活動計画に基づき 実施した取組内容	取組結果と評価 (○△×)		次年度の取組計画	
環境目標項目		具体的取組内容					1月～12月	
1 二酸化炭素排出量削減	電気使用量の削減	節電 主電源オフ 空調機器の設定温度管理	三上(貴)	・節電は、事業所内の使用していない部屋はこまめに消灯するようにした。 ・主電源オフは、使用頻度の少ない機器類は主電源をオフ、もしくはコードを抜く。 ・空調機器の温度設定は、冬期は20℃以下、夏期は28℃以上を厳守した。	具体的取組内容は実施し、年間目標達成。	評価	○	引き続き継続
	化石燃料使用量の削減	エコドライブの徹底 ルート管理 不要な積載物を載せない 低燃費車への買い替え検討	三上(貴)	・エコドライブの徹底、ルート管理及び不要な積載物を載せないは、エコドライブ10のすすめを配布し、徹底した。 ・毎月の給油量と回数を車両ごとに報告する。	目標を大幅に未達成。遠方の現場の場所等の影響が大きいが何か対策を考え対策しなければならない。	評価	×	
2 廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減	リサイクルの徹底 資源の有効利用	西田	・リサイクルの徹底は、缶、ビン、ペットボトルの分別を徹底した。 資源の有効利用としては、裏紙を再利用し一般廃棄物の削減につなげた。	具体的取組内容は実施し、概ね良好な取組。	評価	○	引き続き継続
	産業廃棄物の削減	元請工事で発生する産廃の適正処理 自社排出産廃の適正処理	三上(貴)	当社の工事は下請工事がメインで、元請工事で産廃の発生はなかった。ただし、元請け工事を受注した際には、適正に処理するため、産廃契約は実施	評価不可	評価	－	
	リサイクル資源の削減	カン、ビン分別回収の徹底 紙類両面使用の推進	三上(貴)	分別回収は徹底した。紙類も裏面をメモ書きに利用するなど有効活用する。	具体的取組内容は実施した。	評価	○	引き続き継続
3.水使用量の削減		トイレ及び流し節水	西田	朝礼での注意喚起を行いトイレ及び流しの節水に努める。	節水に努め目標達成。	評価	○	引き続き継続
4.化学物質使用量の管理		SDSによる該当化学物質の有無把握 購入量の把握	三上(貴)	SDSを確認し、PRTR法対象化学物質の購入量の把握をした。購入も使用も無かった。	具体的取組内容は実施した。	評価	○	引き続き継続
5.環境配慮製品・サービスの提供	環境配慮工事受注拡大	製品・工事の積極的な情報 ITツールの積極活用による営業展開 宣伝資料の作成	三上(貴)	タブレットなどを用いて製品の積極的な提案を行なった。	金額、件数ともに目標達成ならず。	引き続き継続		
	工事への環境配慮	遮熱塗料の提案 セルフクリーニング効果塗料の提案		遮熱塗料、セルフクリーニング効果塗料の具体的な効果を過去の事例写真を提示し提案した。	継続して行うこととする。 評価 △			

(1) 関連法規等の遵守状況

遵守状況確認日 2025 年 1 月 10 日

法律名	要求事項	当社が遵守すべき事項	遵守状況
廃棄物処理法	・産廃保管場所の表示 ・産廃処理委託業者との二者契約 ・マニフェストの交付、回収、保管 ・排出量の削減	・保管場所表示 ・委託先二者契約 ・マニフェスト管理実施 ・排出量削減努力	適正遵守
建設リサイクル法	・特定建設資材使用建築物等の解体施工基準の遵守 ・特定建設資材の再資源化の促進	・解体施工時の基準遵守 ・再資源化の促進	適正遵守
家電リサイクル法	・使用済特定家電品の業者引渡し	・使用済特定家電品を料金を払って業者引渡し	適正遵守
自動車リサイクル法	・使用済自動車を引き取り業者に引き渡す	・使用済自動車を引き取り業者に引き渡す	適正遵守
神奈川県生活環境の保全等に関する条例	・自動車の駐車をする場合は自動車の原動機を停止	・自動車の駐車をする場合は自動車の原動機を停止	適正遵守
神奈川県廃棄物の不適正処理の防止等に関する条例	・廃棄物の発生抑制に努める ・廃棄物の自己責任処理	・廃棄物の発生抑制に努め、発生廃棄物は責任を持って処理	適正遵守

当社は、関係当局からの違反の指摘、指導及び利害関係者からの訴訟等は、これまで過去3年間ありませんでした。

代表者は、今年度におけるエコアクション21運用全体について以下の通り、評価と見直しを行いました。

項 目	内 容		
1.見直し実施日	令和7年1月10日(金)		
2.出席者	代表取締役、環境管理責任者		
3.報告した情報	①環境目標達成状況 ②環境活動計画の実施及び運用結果 ③環境関連法規等の遵守状況 ④外部からの苦情、要望等		
4.代表者の評価	前年と比較し改善した点もあり、目標を達成した項目があることは評価できる。 ただし改善の余地はまだあるので取り組みを継続し、 次年度は必ず全体目標を達成することを目指す。 また、会社全体として環境活動への取り組みの意識が年々 向上していることは大きな収穫であり、引き続き法令を遵守するとともに、 積極的に環境活動への取り組みを推進する。		
5.見直しの結果	見直し項目	変更の有無	変更の内容
	①環境方針	有 ・ (無)	
	②環境目標	有 ・ (無)	
	③環境活動計画	有 ・ (無)	
	④実施体制	有 ・ (無)	
	⑤環境経営システム	有 ・ (無)	